

真田氏館(県史跡)(上田市真田町本原 御屋敷)

(御屋敷公園, 皇太神社, 真田氏歴史館)

地元では御屋敷とよび、小字も御屋敷となっている。

館跡は四周に土塁を廻らしており、東西 150m から 160m、南北およそ 130m のやや台形の敷地で、東が高く、西に緩やかな傾斜をしている。周囲の土塁は東側が特に高く、現在 4m から 5m あり、東南の隅を欠いている。南側には大手があり、枡形も残る。北西の隅は低地になっていて、これを厩屋(うまや)跡とよんでいる。

真田氏の居館は、角間・甲石等にもあったとされるが、遺構の現存しているものはこのお屋敷以外になく、中世豪族の館跡として貴重である。

「上田市文化財マップ」による

